

卒業生優先及び第1期は締切ました。定員に達した講習は受付できません。

日本工業大学 平成29年度 教員免許状更新講習 募集要項

日本工業大学教職教育センター

日本工業大学では、平成29年7月31日～8月4日の日程で教員免許状更新講習を実施いたします。講習は「必修」（6時間）、「選択必修」（6時間）、「選択」（18時間）の3領域からなります。本学では、高等学校「工業科」及び中学校「技術科」の教員を主な対象として、これら3領域の各講習を開設いたします。

受講を希望される方は以下の要項をよく読んでお申し込みください。なお、教員免許更新制の詳細については文部科学省のホームページをご覧ください。

【開設する講習】

- 7月31日（月） 必修講習 「教育の最新事情」
- 8月1日（火） 選択必修講習①「学校と家庭学習との連携」
~~選択必修講習②「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性」~~
- 8月2日（水） 選択講習 A「環境共生ものづくり」
選択講習 B「電気電子通信技術の現状と将来」
選択講習 C「放射線の種類とその性質」
- 8月3日（木） 選択講習 D「最新の表面・界面科学と将来の展望」
選択講習 E「研究ノート：大空間構造の地震被害・対策とこどものための建築・児童福祉施設の現状」
~~選択講習 F「材料と加工に関する技術」~~
- 8月4日（金） 選択講習 G「機械工学におけるシミュレーション技術」
選択講習 H「Webを構成する技術」
選択講習 I「生物育成に関する技術」

*1講習だけでも受講できます。

*選択必修講習及び選択講習は1日に2～3講習ずつ開講されますが、受講できるのは1日1講習のみです。

【定員】

必修講習 60人

選択必修講習及び選択講習 各30人

*各講習とも、受講希望者が5人未満の場合には開講しないことがあります。

【会場】

日本工業大学（宮代キャンパス）*アクセスは本学ホームページをご覧ください。

【受講資格】

◎旧免許状（平成 21 年 3 月 31 日までに授与された免許状）を持つ方

生年月日が以下のいずれかの期間内である現職教員（教諭、常勤講師、非常勤講師、実習助手など）

昭和 37 年 4 月 2 日～39 年 4 月 1 日

昭和 47 年 4 月 2 日～49 年 4 月 1 日

昭和 57 年 4 月 2 日～59 年 4 月 1 日

◎新免許状（平成 21 年 4 月 1 日以降に授与された免許状）を持つ方及びこれから授与を申請する方

受講資格を有する方もいますので個別に各教育委員会等にお問い合わせ下さい。

*受講申請書（別紙）の所定の欄に、勤務する学校の校長から受講対象者であることの証明を受けてください。（下記【申し込み方法】②③参照）

*高等学校「工業科」及び中学校「技術科」の教員を主な対象としていますが、他教科・他校種の教員も受講可能です。ただし、選択講習（A～I）は養護教諭及び栄養教諭を対象とする講習ではありません。

*現職教員以外でも受講資格を有する方もいますので、文部科学省のホームページでご確認のうえお申し込み下さい。

【受講料】

必修講習：6,000 円

選択必修講習：6,000 円

選択講習：1 講習につき 6,000 円

*全日程（5 日間）を受講する方は 30,000 円となります。

*受講料の振り込み期限は 6 月 23 日（金）です。振り込み先は受講許可後にお知らせします。期限までに振り込みがなされない場合はキャンセルと見なします。

*受講料の振り込み手数料、受講申請書等の郵送料は受講生がお支払いください。

*7 月 28 日までのキャンセルについては受講料の一部（1 講習につき 5,000 円）を返還します。7 月 29 日以降のキャンセルについては受講料の返還はできません。

【申し込み方法】

募集期間は文科省の定めにより、本学の場合、5月16日(火)からとなります。

それ以前には受付できませんので、ご了承下さい。

- ① **受講希望者から大学へ**：下記の募集期間中に、(a)自宅郵便番号、(b)自宅住所、(c)電話番号(携帯可)、(d)氏名、(e)フリガナ、(f)生年月日、(g)勤務校、(h)所持する免許状の教科、(i)受講を希望する講習名を電子メールにて **menkyo@nit.ac.jp** に送信してください。本学卒業生の場合は(j)卒業した学科と(k)卒業年月、氏名が変わった方は(l)卒業時の氏名も記入してください。

なお、電子メールの件名 (Subject) は、「**免許状更新講習申し込み (受講希望者の氏名)**」としてください。

<申し込みメールの記載例>

件名：免許状更新講習申し込み (日工 太郎)

本文：

(a)345-8501

(b)埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

(c)0480-33-XXXX

(d)日工 太郎

(e)ニッコウ タロウ

(f)昭和 48 年 4 月〇日

(g)埼玉県立〇〇工業高等学校

(h)中学校 1 種「技術」、高校 1 種「工業」

(i)必修講習、選択必修講習①、選択講習 A、選択講習 D、選択講習 G

以下は本学卒業生のみ

(j)電気電子工学科

(k)平成 8 年 3 月

(l)東工 太郎 (トウコウ タロウ)

- ②大学から受講希望者へ：受講の可否を電子メールでお知らせします。その際、受講可とされた方には、受講料の振り込み先をお知らせするとともに、添付ファイルにて「受講申請書」と「事前アンケート」を送ります。

***添付ファイルを送りますので、携帯電話のメールによるお申し込みはできません。**

- ③**受講希望者から大学へ**：受講可とされた方は、「受講申請書」に必要事項を記入、写真を貼付し、勤務する学校の校長から証明を受けたうえで、「事前アンケート」とともに 6 月 23 日 (金) <消印有効>までに大学に郵送してください。そして、同日までに受講料を振り込んでください。

- ④大学から受講希望者へ：書類と受講料の納入を確認した後、「受講票」と「受講案内」を送ります。「受講票」は講習当日に必ず持参してください。

【受講生募集期間】

① 優先募集 **本学卒業生対象**

平成 29 年 5 月 16 日 (火) ～ 平成 29 年 5 月 18 日(木) (24:00 締切)

- * 必修講習の定員 (60 人) のうち 30 人、選択必修講習及び選択講習の定員 (各 30 人) のうち各 20 人は本学卒業生の優先募集枠とします。
- * 優先募集枠を超える申し込みがあった場合は、全 5 日間の講習 (必修講習、選択必修講習及び選択講習 3 講習) を申し込んだ方を優先します。それでも優先募集枠を超えた場合には、抽選によって受講生を決定します。
- * 受講の可否は 5 月 20 日までにお知らせします。
- * 優先募集枠から漏れた方は、一般募集 (第 1 期) の対象者となります (改めて申し込んでいただく必要はありません)。

② 一般募集 **一般受講生対象**

第 1 期 平成 29 年 5 月 16 日 (火) ～ 平成 29 年 5 月 18 日 (木) (24:00 締切)

第 2 期 平成 29 年 5 月 19 日 (金) ～ 平成 29 年 5 月 23 日 (火) (24:00 締切)

- * 必修講習の定員 (60 人) のうち 30 人、選択講習の定員 (各 30 人) のうち各 10 人を一般募集枠とします。また、各講習において優先募集枠に余りが生じた場合、その人数分も一般募集に割り当てます。
- * 第 1 期に申し込まれた方については、受講の可否を 5 月 20 日までにお知らせします。
- * 第 1 期に一般募集枠 (優先募集の残余分を含む) を超える申し込みがあった場合は、全 5 日間の講習 (必修講習、選択必修講習及び選択講習 3 講習) を申し込んだ方を優先します。それでも一般募集枠を超える申し込みがあった場合は、抽選によって受講生を決定します。
- * 第 2 期については、定員に達していない講習に限り先着順で受け付けます。

【講習の日程と内容】

1日目 7月31日(月)	2日目 8月1日(火)	3日目 8月2日(水)	4日目 8月3日(木)	5日目 8月4日(金)
1講習	2講習から選択	3講習から選択	3講習から選択	3講習から選択
必修講習 子どもの発達に関する課題、子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方、国の教育政策や世界の教育の動向と教員としての子ども親、教育観等についての省察 (6時間)	選択必修講習① 学校、家庭並びに地域の連携及び協働 (6時間)	選択講習A 環境共生ものづくり (6時間)	選択講習D 最新の表面・界面科学と将来の展望 (6時間)	選択講習G 機械工学におけるシミュレーション技術 (6時間)
	選択必修講習② 学校を巡る近年の状況の変化、様々な問題に対する組織的対応の必要性 (6時間)	選択講習B 電気電子通信技術の現状と将来 (6時間)	選択講習E 研究ノート: 大空間構造の地震被害対策とこどものための建築・児童福祉施設の現状 (6時間)	選択講習H Webを構成する技術 (6時間)
		選択講習C 放射線の種類とその性質 (6時間)	選択講習F 材料と加工に関する技術 (6時間)	選択講習I 生物育成に関する技術 (6時間)

*各講習とも 10 : 00 開始、17 : 30 終了予定です。

7月31日(月)

必修講習 「教育の最新事情」

「子どもの発達に関する課題」

担当講師：瀧ヶ崎隆司

「子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方」

担当講師：山口 剛

「国の教育政策や世界の教育の動向と教員としての子ども観、教育観等についての省察」

担当講師：當間喜久雄・浦岡 勉

8月1日(火)

選択必修講習①「学校と家庭学習との連携」

担当講師：小山将史・松本くみ子

授業と連携した家庭学習を進めるにあたり、学習環境をキーワードに、学校と家庭が連携・協働するための方策を検討する。また、インクルーシブ教育システムの実現に向け、学校・家庭・地域が相互に連携することが求められている。そこで、特別な支援が必要な子どもへの支援を中心に、学校と家庭、医療機関等の効果的な連携のあり方を、事例を交えながら学ぶ。

~~選択必修講習②「学校を巡る近年の状況の変化」~~ 担当講師：浦岡 勉・當間喜久雄

~~「様々な問題に対する組織的対応の必要性」~~ 担当講師：渡辺 勉・岩崎利信

~~「学校を巡る近年の状況の変化」「様々な問題に対する組織的対応の必要性について」を柱に、学校の内外における連携協力についての理解、学校段階間の接続、保護者等からのクレーム対応および学校における諸課題を取り上げ、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。~~

8月2日(水)

選択講習 A「環境共生ものづくり」

担当講師：内田裕一・安原鋭幸・八木田浩史

21世紀は、石油や鉱物などの地下資源の使用量を大幅に減らし、地上資源をうまく活用する時代である。ものづくりも環境を意識した、いわば「環境共生ものづくり」を行うようになってきている。この講義では、環境を意識した工業製品の製造から廃棄までの流れを学ぶとともに、工業製品の設計における新展開、環境調和型の新材料の開発と利用など、環境共生型の持続可能な社会システムの在り方についても考えることを目的とする。

選択講習 B「電気電子通信技術の現状と将来」

担当講師：吉野秀明・竹村暢康・竹本泰敏

電気電子工学の最新技術について講述する。①情報通信技術（ICT）の中核をなす情報ネットワークを支える基盤技術について講義する。②無線通信に関する内容として、移動体通信技術の変遷及び動向やマイクロ波を用いた電波応用技術について講義する。③エネルギーセキュリティと電力発生（火力発電）、電力系統技術、スマートグリッド、再生可能エネルギー（小水力、太陽光、風力）に関する内容と最近の動向について説明する。

選択講習 C「放射線の種類とその性質」

担当講師：梅谷篤史・服部邦彦・佐藤杉弥・狩野みか

放射線は工業製品や医療診断などでも日常使われるようになっているが、人体に及ぼす影響が大きいためから取扱いには注意を要する。特に、目に見えないため、安全のためにその性質と測定法を正しく理解する必要がある。本講習では、放射線の種類と性質、および、測定法の基礎について解説する。また、最近関心の高い環境放射線を実際に測定し、誤差を考慮した正しい結果の見方について学ぶ。

8月3日(木)

選択講習 D 「最新の表面・界面科学と将来の展望」 担当講師：池添泰弘・福田めぐみ

物体の表面や界面を舞台に繰り広げられてきた『表面科学』と呼ばれる研究分野の概観について、最新のナノテクノロジーやバイオテクノロジーと関連付けながら講義を行う。ここでは、①表面・界面に特有の自然現象と過去の研究で明らかにされてきたこと、②表面の形状や化学的性質などを分析するための手法や分析機器の特徴、③新材料開発における戦略と現状、④将来の展望、⑤研究室での最新の研究成果、などを軸に話を進める。

選択講習 E 「研究ノート：大空間構造の地震被害・対策とこどものための建築・児童福祉施設の現状」

担当講師：竹内宏俊・箕輪健一

研究室が取り組む最新の研究成果を二例紹介する。前半は、大空間構造における近年の地震被害と様々な地震対策方法について、後半は、待機児童や児童虐待などの社会問題で注目されるようになった近年の児童福祉施設のあり方についてである。

~~**選択講習 F 「材料と加工に関する技術」** 担当講師：森山富治男・長島佳久~~

~~主に中学校技術科担当者のための講座である。従来対象材料としては、木材を中心に扱われてきたが、社会生活や家庭生活の変化に伴い、多用されているアクリルも併用し、材料と加工法および材料と加工に関する技術を利用した製作品の設計・製作を扱う。加工に必要な道具などを実際に活用して、工夫して製作することの喜びや緻密さへのこだわりを体験させる指導方法のポイント等に触れる。~~

8月4日(金)

選択講習 G 「機械工学におけるシミュレーション技術」

担当講師：瀧澤英男・加藤史仁・小崎美勇

本講義では機械工学における数値シミュレーション技術について学ぶ。

①製造業（金属加工）における CAE（工学シミュレーション）の利用例について、基礎の概略と利用の実態について解説する。②身の回りの機械にセンサとして組み込まれているマイクロマシン（米粒よりも小さな機械）の構造や駆動メカニズムについて、シミュレーションを用いた設計事例を紹介する。③最近の「光」を用いた測定などを解説し、ここでの設計や現象理解に用いられる光波シミュレーションについて説明する。

選択講習 H 「Web を構成する技術」

担当講師：佐藤進也

今や社会のインフラとなっている World Wide Web (Web) を構成する技術について講述する。Web の歴史を遡り発展のプロセスを把握するところからはじめ、Web の基本的なアーキテクチャについて解説する。その上で、通信プロトコル、テキスト処理、分散処理、マルチメディア処理、データマイニングなど各要素技術について講義する。

選択講習 I 「生物育成に関する技術」

担当講師：伊藤健司

ここでは、主に中学校技術科担当者や部活動・委員会活動等指導者のための講座である。生物育成に関する技術を利用した栽培方法としては、育成する時期や育成に必要な環境、育成するために必要とする道具・農具・資材（用土類）などを実際に利活用して、指導方法の充実と育成指導のポイント等に触れる。さらに、実践的な指導法についても解説する。

【申込から受講までの流れ】

＜確認＞受講資格を確認して下さい。不明な場合は各教育委員会へお問い合わせ下さい。



＜申込＞受講を希望する講習を選んで、メールにて申込して下さい。 menkyo@nit.ac.jp

5/16 (火) ～5/18 (木) ①本学卒業生優先募集

5/16 (火) ～5/18 (木) ②一般募集第1期

5/19 (金) ～5/23 (火) ②一般募集第2期 (定員に達していない講習のみ募集)



＜手続き＞大学側から送られてくるメールの添付ファイルを印刷し、「受講申請書」「事前アンケート」を **6/23 (金) <消印有効>**まで教職教育センターへ送付下さい。

また、メール内にある銀行口座へ受講料の振込をお願いします。(納入締切 **6/23 (金)**)



＜受講許可＞**7月上旬**

書類手続きと入金手続きが確認できた方へ書類等をお送りします。(7月上旬発送予定)



＜受講＞**7/31 (月) ～8/4 (金)** 講習受講・修了試験 (全日程 10:00～17:30)



＜証明書＞**8月下旬頃** 修了証明書・履修証明書の送付



＜更新手続き＞30 時間以上の修了証明書もしくは履修証明書を添えて各自で教育委員会等に「更新講習修了確認」の申請をします。各免許管理者が定める申請方法等を確認の上、必ず期限まで申請して下さい。

【お問い合わせ】

日本工業大学 教職教育センター

〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1

TEL0480-33-7737 FAX0480-33-7744 e-mail: menkyo@nit.ac.jp

*携帯電話からメールでお問い合わせをされる場合、指定受信設定をしている方は設定を解除してください。解除されていないと本学からのメールを受信できません。